

# 宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和6年第17週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (17週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：報告なし。3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：レジオネラ症 1 例。
- 5 類感染症：梅毒 1 例、百日咳 7 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
4類	レジオネラ症	日南	70歳代	男	肺炎型	発熱、呼吸困難、肺炎
5類	梅毒	宮崎市	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
		宮崎市	10歳代	男	—	持続する咳
	宮崎市	10歳代	女	—	持続する咳	
	百日咳	宮崎市	30歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、白血球数増多
		高鍋	0~4歳	男	—	持続する咳
			0~4歳	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			5~9歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
5~9歳	男		—	持続する咳、夜間の咳き込み		

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は845人(定点当たり21.2)で、前週比114%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症及び咽頭結膜熱であった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【新型コロナウイルス感染症】

報告数は173人(3.0)で、前週比104%とほぼ横ばいだった。高千穂(7.5)、日南(6.0)、延岡(5.1)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が約半数だった。

##### 【インフルエンザ】

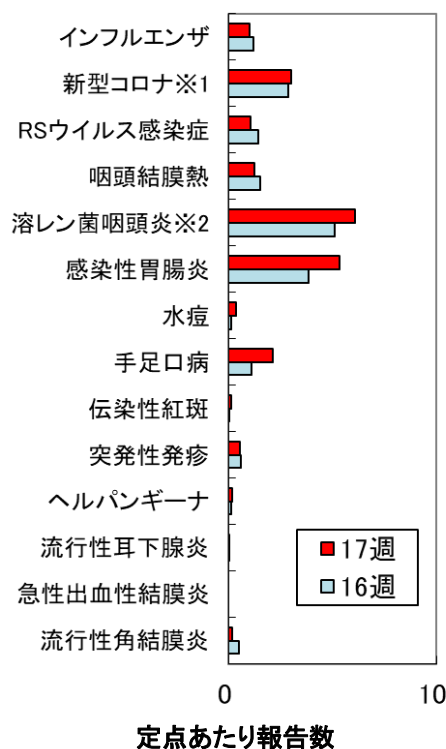
報告数は59人(1.0)で、前週比84%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.61)の約1.7倍であった。日南(2.6)、宮崎市(1.3)・延岡(1.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満がほとんどだった。

##### 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は218人(6.1)で、前週比118%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(1.6)の約3.8倍であった。日南(11.7)、小林(10.0)、延岡(6.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は3歳から7歳が全体の約半数を占めた。

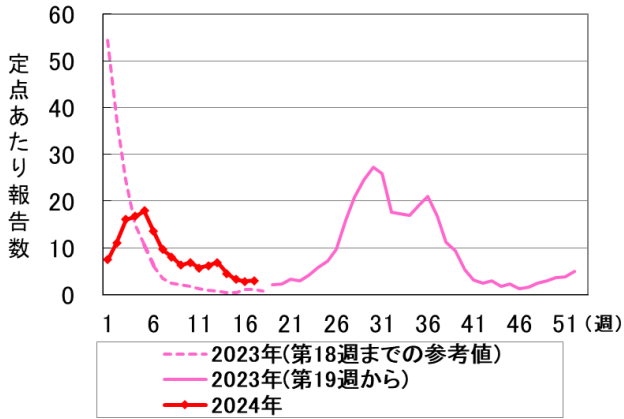
\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

《前週との比較》



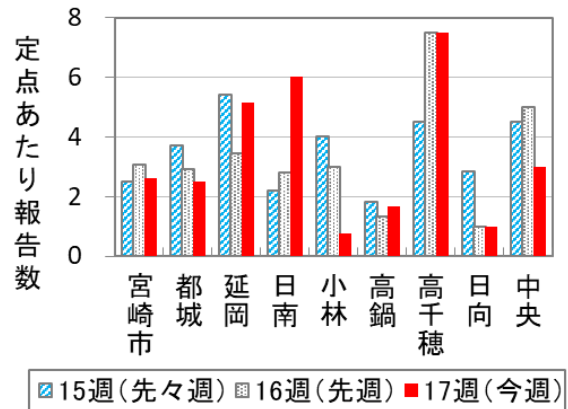
※1 新型コロナウイルス感染症  
 ※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

新型コロナウイルス感染症 発生状況

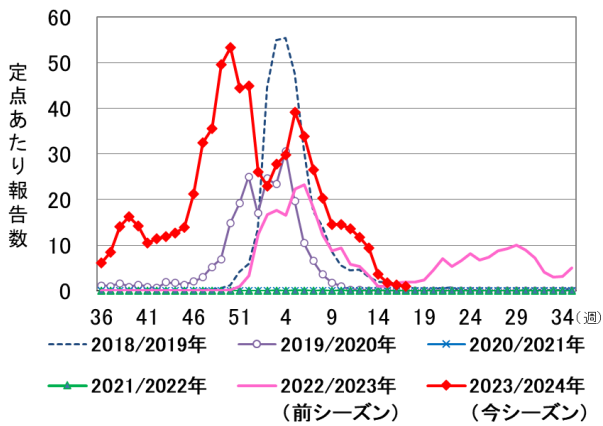


※新型コロナウイルス感染症の第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

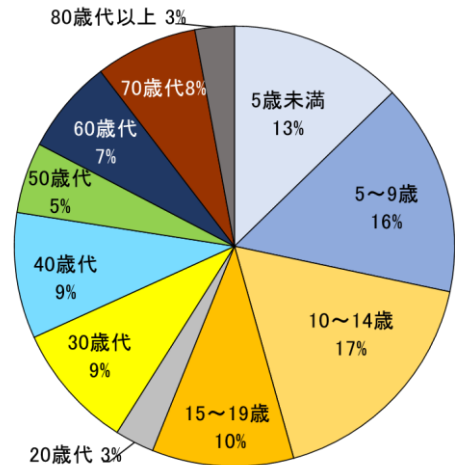
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移 (3週分)



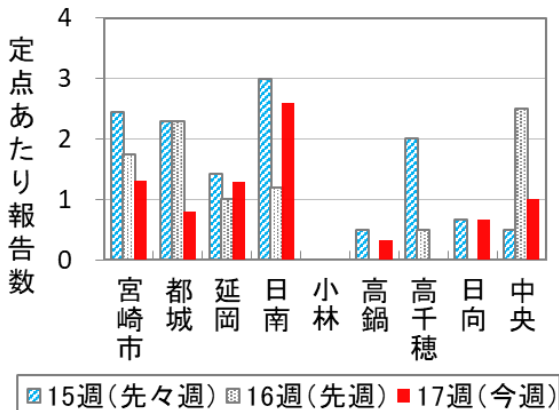
インフルエンザ 発生状況



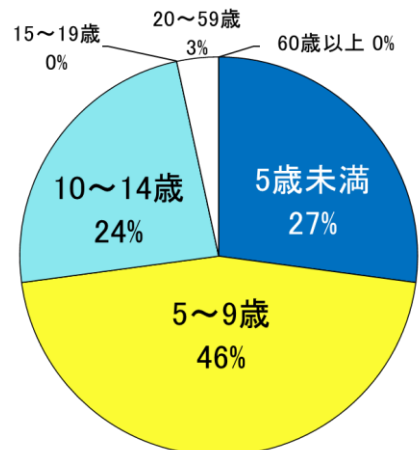
新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ (第17週)



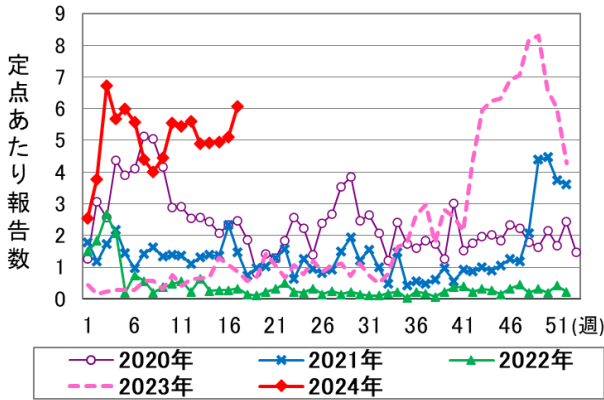
インフルエンザ 保健所別推移 (3週分)



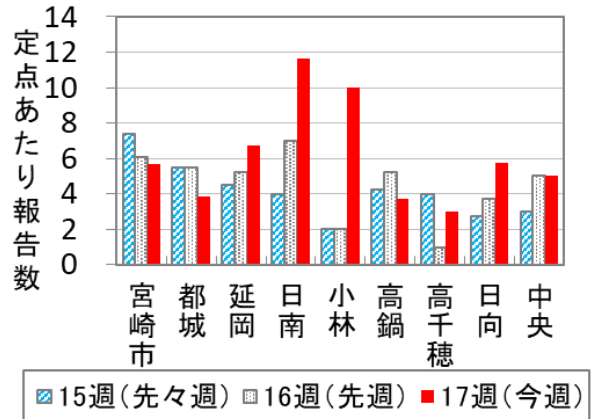
インフルエンザ年齢群別グラフ (第17週)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	水痘(1.0)
都城	なし
延岡	なし
日南	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(11.7)
小林	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(10.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	手足口病(5.0)

※流行警報レベル開始基準値※  
 ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)  
 ・手足口病(5)

※流行注意報レベル基準値※  
 ・水痘(1)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和6年4月29日までに検出）

★細菌 報告なし

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Influenza virus A H1pdm09	30歳代	男	2024.02.06	インフルエンザA型、38.6℃、倦怠感、鼻水、鼻閉、頭痛、関節痛	鼻咽頭ぬぐい液	2024.04.16
Coxsackievirus A6	0～4歳	女	2024.02.28	手足口病の疑い、37.9℃、丘疹、紅斑	咽頭ぬぐい液	2024.04.16
Influenza virus B(Victoria lineage)	0～4歳	男	2024.03.04	感染性胃腸炎、38.2℃、下痢	鼻汁	2024.04.22
Coxsackievirus A6	0～4歳	男	2024.03.06	不明の発疹症、39.6℃、丘疹、紅斑	咽頭ぬぐい液	2024.04.24
Coxsackievirus A6	0～4歳	女	2024.03.25	手足口病、39.0℃、丘疹	咽頭ぬぐい液	2024.04.24
Influenza virus B(Victoria lineage)	5～9歳	男	2024.03.25	インフルエンザB型、38.6℃、咽頭炎、気管支炎	鼻汁	2024.04.16

## 📌 全国 2024 年第 16 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	264 例			
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	39 例	
4類感染症	E型肝炎	7 例	A型肝炎	5 例	コクシジオイデス症 1 例
	重症熱性血小板減少症候群	7 例	つつが虫病	1 例	日本紅斑熱 3 例
	レジオネラ症	21 例			
5類感染症	アメーバ赤痢	11 例	ウイルス性肝炎	6 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症 38 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	2 例	クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	35 例	後天性免疫不全症候群	11 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症 11 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	30 例	水痘(入院例) 7 例
	梅毒	185 例	播種性クリプトコックス症	2 例	百日咳 14 例

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 105%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症、咽頭結膜熱及びA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症であった。

インフルエンザの報告数は9,105人(1.9)で前週比69%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.90)の約2.1倍であった。山形県(6.5)、新潟県(4.8)、山梨県(4.4)からの報告が多く、年齢群別では15歳未満が全体の約7割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は17,937人(3.6)で前週比98%とほぼ横ばいだった。岩手県(7.2)、青森県(7.1)、秋田県(6.9)からの報告が多く、年齢群別では15歳未満が全体の約3割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2024年 第17週(04月22日～04月28日)

疾病名		第16週	第17週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	70	59	21	8	9	13		2		4	2
	定点当り	1.21	1.02	1.31	0.80	1.29	2.60	0.00	0.33	0.00	0.67	1.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	167	173	42	25	36	30	3	10	15	6	6
	定点当り	2.88	2.98	2.63	2.50	5.14	6.00	0.75	1.67	7.50	1.00	3.00
RSウイルス感染症	報告数	51	37	9	3	6	5	2	1	1	4	6
	定点当り	1.42	1.03	0.90	0.50	1.50	1.67	0.67	0.25	1.00	1.00	6.00
咽頭結膜熱	報告数	54	45	28	4	1	2	8			2	
	定点当り	1.50	1.25	2.80	0.67	0.25	0.67	2.67	0.00	0.00	0.50	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	184	218	57	23	27	35	30	15	3	23	5
	定点当り	5.11	6.06	5.70	3.83	6.75	11.67	10.00	3.75	3.00	5.75	5.00
感染性胃腸炎	報告数	139	192	69	40	8	27	16	9	1	16	6
	定点当り	3.86	5.33	6.90	6.67	2.00	9.00	5.33	2.25	1.00	4.00	6.00
水痘	報告数	5	13	10		2		1				
	定点当り	0.14	0.36	1.00	0.00	0.50	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	40	77	31	20	1	3	9	7		1	5
	定点当り	1.11	2.14	3.10	3.33	0.25	1.00	3.00	1.75	0.00	0.25	5.00
伝染性紅斑	報告数	1	4			1	3					
	定点当り	0.03	0.11	0.00	0.00	0.25	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	21	19	6	3	4			5		1	
	定点当り	0.58	0.53	0.60	0.50	1.00	0.00	0.00	1.25	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	4	6	3	1	1			1			
	定点当り	0.11	0.17	0.30	0.17	0.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	1					1				
	定点当り	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	3	1	1								
	定点当り	0.50	0.17	0.33	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～17週 保健所受理分)

2類感染症	結核	25例		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6例		
4類感染症	E型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	2例
	日本紅斑熱	1例	レジオネラ症	5例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例	後天性免疫不全症候群	1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	3例	水痘(入院例)	3例
	百日咳	25例(7)	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
			梅毒	54例(1)
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例

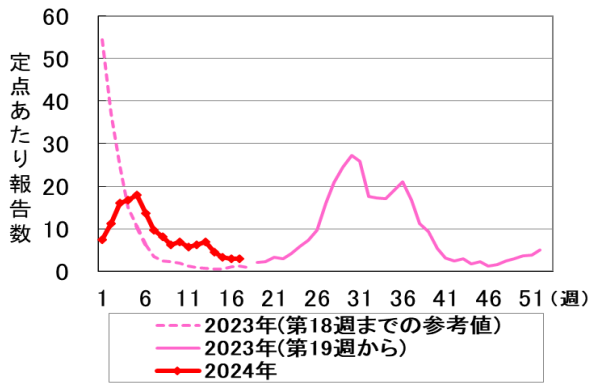
( )内は今週届出分、再掲

# 新型コロナウイルス感染症情報 《県内第 17 週、全国第 16 週（再掲）》

## □ 県内第 17 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

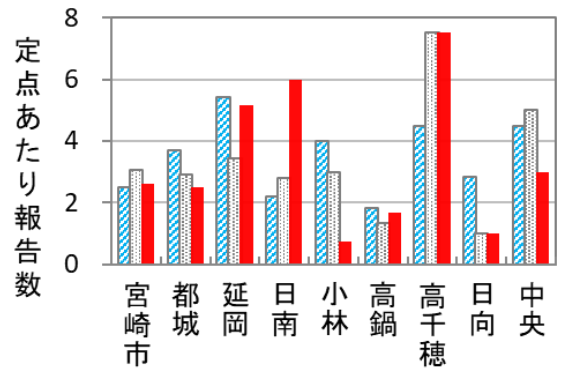
4 月 22 日～4 月 28 日までの 1 週間で 173 人(3.0)の報告があった。前週比 104%と横ばいで、高千穂(7.5)、日南(6.0)、延岡(5.1)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症 発生状況



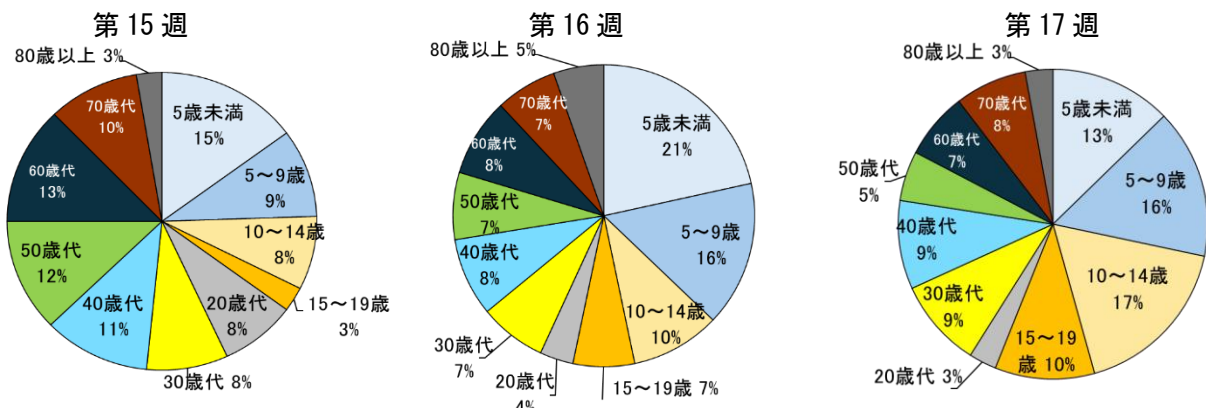
※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3 週分)

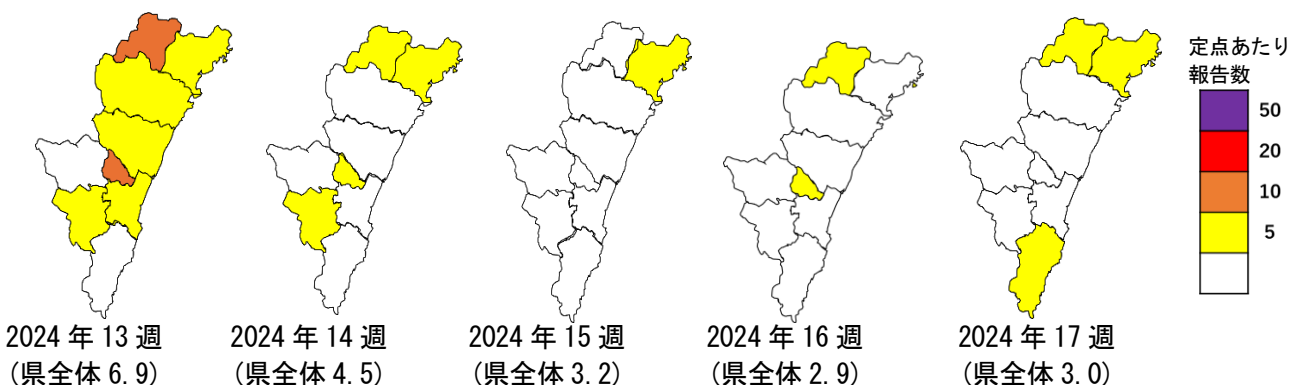


■ 15週(先々週) ■ 16週(先週) ■ 17週(今週)

新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024 年第 13 週～2024 年第 17 週



\* 県独自の基準によるもの

## □ 全国第 16 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

4 月 15 日～4 月 21 日までの 1 週間で 17,937 人(3.6)の報告があった。前週比 98%と横ばいで、岩手県(7.2)、青森県(7.1)、秋田県(6.9)からの報告が多かった。年齢群別では 15 歳未満が全体の約 3 割を占めた。